



# みょうこう 市議会だより

 令和元年6月定例会 No.58

6月定例会は、6月3日から6月19日までの会期17日間で開かれました。この定例会には、令和元年度補正予算1件をはじめ、条例関係3件、動産の取得など事件議決2件、専決処分の報告1件が市長から提案され、いずれも原案のとおり決まりました。また、15人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

### 【主な内容】

- 6月定例会ではこのようなことが決まりました！  
審議された議案と審議結果……………2ページ
- 常任委員会で議案をじっくり審査ほか……………3ページ
- ここが聞きたい！一般質問……………4～11ページ
- 議会報告会・意見交換会を開催ほか……………12ページ

## 議会報告会・意見交換会を開催しました！

妙高会場（4月16日）  
テーマ：観光と妙高原駅前の  
活性化について  
農業・鳥獣対策について

農作物に対する  
鳥獣害対策の  
強化を

4月16日～18日の3日間、市内3会場で  
議会報告会・意見交換会を開催し、3会場あわ  
せて68名の方からご参加いただきました。  
詳しくは12ページをご覧ください。

妙高会場（4月17日）  
テーマ：農業を中心にした今後の  
地域づくりについて

高齢化の中  
農業を  
どう残して  
いくのか

妙高原駅前の  
活性化は

夜間除雪の  
体制整備を

新井会場（4月18日）  
テーマ：子育てについて  
農業について

減反政策が  
なくなった途端  
耕作放棄地が  
増えた

住宅密集地内の  
用水の安全柵の  
設置を

人口減少に  
ついて  
どう考えて  
いるのか

働く場所がないと  
大学に行っても地元に戻れないため  
人口減少がさらに進んでしまう



# 6月定例会ではこのようなことが決まりました！

## 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、同法律に準じて支給している投票管理者等の報酬額を改めるため、条例を改正。

## 市税条例等の一部改正

消費税率の引上げに伴う需要変動の平準化や、地方創生を推進する観点から地方税法等が一部改正されたことに伴い、軽自動車税におけるグリーン化特例の見直しや環境性能割の臨時的軽減措置など、関係する条例を改正。

## ガス供給条例等の一部改正

令和元年10月1日からの消費税及び地方消費税の税率の改正に伴い、ガス、水道、下水道など各会計の料金や使用料、加入金などに係る、消費税率引上げ分の改定について条例を改正。

## 工事請負契約の締結（道の駅あらい農業振興施設新築・建築工事）

妙高産農産物等の販路拡大や高付加価値化等による農業振興を図るため、道の駅あらいの拡張エリアに、農業振興施設を新築するため工事請負契約を締結するもの。契約金額2億8,820万円で山崎・野本特定共同企業体と請負契約を締結。

### ～予算の補正～

# 一般会計2,209万円を増額

⇒ 一般会計総額は201億8,209万円に

#### 【補正予算の概要】

#### ◆認定こども園・保育園運営事業…1,015万2,000円増額

国の幼児教育・保育無償化に伴う保育料の算定等に必要な電算システムの改修に係る費用を補正。

#### ◆感染症予防対策事業…418万8,000円増額

風しんの抗体を十分に保有していない世代に実施する抗体検査及び予防接種について、抗体検査薬変更による単価上昇や検査結果等を管理する電算システムの改修に係る費用を補正。

#### ◆観光施設維持管理事業…330万円増額

妙高戸隠連山国立公園内に整備する案内看板にQRコードを表示し、ICTを活用した多言語解説を行うためのウェブサイト整備に係る費用を補正。

#### ◆UIターン促進住宅支援事業…255万円増額

定住促進を図るためのUIターン促進住宅支援事業補助金について、当初予算を上回る申請があったことから今後見込まれる費用を補正。

#### ◆斐太歴史の里保存管理事業…190万円増額

斐太歴史の里総合案内所のトイレ水洗化に向けた実施設計に係る費用を補正。

## 【令和元年6月定例会で審議された議案と審議結果】

議案番号	議案名	審議結果
報告	第1号 専決処分の承認 国民健康保険税条例の一部改正	承認
議案	第39号 特別職の職員で非常勤職員のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決
	第40号 市税条例等の一部改正	原案可決
	第41号 ガス供給条例等の一部改正	原案可決
	第42号 動産の取得について(小形除雪車)	原案可決
	第43号 令和元年度一般会計補正予算(第1号)	原案可決
	第44号 工事請負契約の締結について(道の駅あらい農業振興施設新築・建築工事)	原案可決
発議	第1号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書	原案可決
	第2号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書	原案可決

# 常任委員会で 議案をじっくり審査

〈付託案件の概要と主な質疑〉

## 【総務文教委員会】

■議案第43号 令和元年度一般会計補正予算(第1号)

○斐太歴史の里保存管理事業  
**問** 斐太歴史の里総合案内所のトイレ改修工事実施設計委託料について、なぜ当初予算ではなく補正予算での提案となったのか。また、トイレ改修工事の完了予定時期は。

生涯学習課長

○斐太歴史の里保存管理事業  
 昨年の12月議会に議員から提案があり、集落排水への接続による水洗化について県へ確認を行ったが、国指定地であり許可がおりないため、合併処理浄化槽での水洗化について地元と協議し合意が得られたことから、補正予算での提案となった。トイレの供用開始は来年の9月頃を予定している。  
**問** 供用開始までに時間がかかり過ぎではないか。  
 生涯学習課長 他の施設の実績等からも同程度の設計期間を要すと判断している。

## 【建設厚生委員会】

■議案第42号 動産の取得について(小形除雪車)

**問** 今回取得した除雪車は除雪業者へ貸与することだが、その業者が担当する路線だけで使用するのか。  
**建設課長** ローター除雪車を貸与した業者が実施する路線以外でも必要となれば、この除雪車を使用し除雪したい。

■議案第43号 令和元年度一般会計補正予算(第1号)

○感染症予防事業

**問** 風しん抗体検査等を受けることができる医療機関は市内に何力所あるのか。また、受診率向上策はどのようなか。  
**健康保険課長** 市内には8機関で、上越医療圏全体で75機あり、受診率向上については、対象者に直接勧奨を行っているほか、事業所へも健康診断の実施をPRしていきたい。

## 【産業経済委員会】

■議案第41号 ガス供給条例等の一部改正

**問** 消費税率引き上げに伴う料金改定だが、消費税率引き上げが延期になった場合はどうなるのか。  
**ガス上下水道局長** 現行の消費税率引き上げが消費税法で決定しているが、引き上げ時期を延期するなどの法案が可決された場合は、法律の定めにより対応する。

■議案第43号 令和元年度一般会計補正予算(第1号)

○観光施設維持管理事業

**問** 多言語解説について、英語圏、台湾語圏の方を対象にするとのことだが、韓国、中国、東南アジア圏の来訪者も増えた場合、追加等の対応はできるのか。  
**観光商工課長** 今回の整備は、案内看板にQRコードのシールを貼る方法で、今後のインバウンドの状況により言語を広げるとも視野に入れていく。



観光案内看板のQRコードを読み込む

## 陳情・要請の審査 意見書の提出

提出された陳情・要請を所管委員会で審査しました。また、所管委員会で採択された陳情等は、本会議で意見書の提出について発議され、採決の結果、可決となった意見書を国等の関係機関へ提出しました。

陳情・要請名	付託委員会	審議結果
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書の採択を求める陳情	総務文教委員会	採 択
新たな過疎対策法の制定に関する意見書等の提出について(お願い)	議会運営委員会	採 択



	意見書の主な内容	審議結果
発議第1号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書	・少人数学級を推進すること。その際の学級規模は、OECD 諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下とすること。 ・教育機関の均等と水準の維持・向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。	可 決
発議第2号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書	・現行の過疎地域自立促進特別措置法が、令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き過疎地域の振興を図り、そこに暮らす人々の生活を支えていくことが重要であり、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要のため、新たな過疎対策法の制定を求めるもの。	可 決

# 市政のここが聞きたい!

# 一般質問



定例会において、  
議員が市の将来や方針、施策等について質問をすることです。  
6月6日、7日に議員15人による  
一般質問が行われました。



※見出し、質問部分は質問者本人が執筆したものを編集しました。



## 地域活性化施設の現状と今後の対応は

小嶋 正彰 議員



活性化施設利用者が減少!対応は

**問** 友楽里館、大滝荘など地域活性化施設は、人口減少や施設の老朽化もあり、利用者は減少している。これまで施設が果たしてきた役割の評価はどのようか。また、経営継続への支援や施設の目的を達成するための課題と対策、施設、設備の更新計画はどのようか。

**市長** 地域活性化施設は、地元の指定管理の中で地域の実情に合わせた管理運営が行われてきた。指定管理者の経営努力や市による施設備品の充実等を実施してきたが、施設の老朽化など多くの課題を抱えている。施設、設備の更新は、施設の長寿命化に向けた整備を計画し、総額約1億2,000万円を要すと試算している。

防災計画見直しの検証と訓練はどうか

**問** 平成30年2月の防災会議で地域防災計画が見直されたが、それに基づく訓練の状況と地震被害想定見直しの進捗はどのようか。ま

た、防災会議委員の女性の登用についてはどうか。

**市長** 市の地震被害想定の見直しは、今年度から来年度にかけて県が実施する地震被害想定の見直しに合わせ、対応したい。市の防災訓練は、全国の自然災害の訓練や知見を取り入れた訓練に努めている。防災会議委員への女性の登用は、避難所運営や避難者目録での対応等から、女性や地域の実情に詳しい委員を加えた防災会議に取り組みたい。

スキー場・山岳登山の遭難防止啓発は

**問** スキー場ではインバウンド客等の遭難防止啓発が必要だがどのようか。また、焼山登山道整備と高谷池ヒュッテの遭難防止や救助体制は。

**市長** スキー場の遭難防止啓発は、インバウンドに向けた注意看板の整備等を行ってきた。焼山登山道は早期整備を県に働きかけたい。高谷池ヒュッテでは、避難小屋として天候などの現地の情報を発信し、注意喚起している。また、ヒュッテ職員による初動捜索や救助訓練を行い救助体制の充実を図っている。



# 妙高市の認知度向上に向けた 施策について

宮澤 一照 議員



アイデアをしっかりと形にすべき

**問** 当市の認知度は高いとは感じられない。しかしながら、地域ブランド調査2018では認知度、魅力度、情報接触度などで昨年より順位が向上しており、少しづつではあるが、数字の面では認知度が向上していることも事実である。今こそCRMのビッグデータを十分に利用して認知度を上げる取り組みを図るべきであるが、今後の展望はどのようか。

**市長** 妙高ツーリズムマネジメントでは、妙高ノートホームページやSNSによる各種情報発信のほか、国内外に向けた各種プロモーションを通じて当市の認知度向上に取り組んでいる。**問** 新井、妙高、妙高高原の各地域からの妙高山の眺めはそれぞれ大変魅力がある。例えば額縁のようなスポットを設けるなど、アイデアを形にすることが重要であり、妙高山まるごと美術館のような、歴史・資源をアイデアを持ってPRしていくべきではないか。

市長 市では、これまで国立公園妙高の魅力を前面に打ち出しながら、アウトドアメーカーとのタイアップによるイベント大会などでのプロモーションを通じて妙高の認知度向上を図ってきた。認知度については高い状況ではないことから、今後も国立公園妙高を軸としたプロモーションを積極的に取り組むとともに、妙高ならではの多様な観光資源を活用したツーリズム事業の展開など、さらなる認知度向上を図る。

**情報、動向調査等の活用は**  
**問** CRMを利用したビッグデータの活用についてはどのようか。

**観光商工課長** ビッグデータの活用について、その分析には専門性を有すことから、本年度から専門家を月1回招いて分析を行っている。これに基づき、DMOの各部会で戦略的にターゲットを絞るような形で、商品づくりが図られていくと考えている。



# 戦争の悲惨さ、命の大切さを 学ぶ平和学習強化を

山川 香一 議員



中学生のスマートフォン、インターネットの利用について

**問** 平成31年4月に市が制作を進めていた第二次世界大戦体験者の証言を記録するDVDの試写会が開かれ、戦争体験者からは戦争の悲惨さなどが語られたと報道された。戦争を知る世代が高齢化する中、平和について後世に繋ぐことは大変重要である。戦争の悲惨さ、命の大切さ、平和の大切さを学ぶための平和学習をさらに強化すべきと考えるが、市内中学校においてはどのような平和学習が行われているか。

**教育長** 市内の中学1、2年生は歴史の授業で日本が関わった戦争の状況や悲惨さ、日本国憲法の制定について学んでいる。さらに、3年生は公民の授業で平和主義やその基本原則について学んでいる。また、各中学校の生徒6名を広島市の平和記念式典に派遣するとともに、その体験を各中学校の生徒に介して伝え、考えるなどしている。これら教育活動を通じて戦争についての歴史的な事実を正しく認識をし、平和を強く願う心や自他の命を大切に思う心の醸成に努めたい。

**問** 新井中学校PTAでは、ネットを利用させる親の宣言が採択された。スマートフォン等の利用にあたって、まずは利用する生徒とその保護者が自身の側の責任において利用し、学校側に責任はないと認識すべきである。その上で、インターネット等を安全に利用するために親子で話し合い、ルールづくりをすることや学校では専門家による学習機会を設けるなどの支援が必要と考えるがどうか。

**教育長** これまで各学校で専門家が講師となり、インターネット等の安全な利用に関する講演会を実施し、親子でのルールづくりの大切さを指導してきた。また、市のPTA連合会では全体研修会に弁護士を講師に招くなどの研修を行っている。教育委員会としても、このPTA連合会の取り組みを全面的に協力し、支援をしていきたいと考えている。

11月が聞きたーい一般質問



### 今後40年間の建物系、インフラ系の維持更新費1,631億円への対応は

樗沢 諭 議員



**問** 公共施設の適正な管理計画は、国の施策を活用し、課題解決することが必要である。基本的な取り組みはどのようなか。

**市長** 国では、個別施設計画に基づく施設の集約化等に地方債を活用する場合、交付税を措置する支援等があり、計画的な施設の維持、修繕に努める。

### 耐震基準不適合の体育館等は、人命の安全を重視し使用禁止に

**問** 耐震基準不適合で解体方針のある施設の早期対応と老朽化が著しい杉野沢浄水場の早期建替への対応は。

**市長** 耐震基準不適合の施設の撤去は地元の理解や財政負担等を考慮し適宜実施する。杉野沢浄水場の建替えは、今年度基本計画の策定と測量調査等をし、安定した水道を確保のため早期完成を目指す。

### 農産物の国内外への販売拡大、生産性向上が必要

**問** 世界の人口は増加し76億人である。市の農産物、加工品の輸出

増加策、生産性向上が必要だが今後の取り組みはどのようなか。

**市長** 市内で生産された米が香港やシンガポール等に輸出されている。米と園芸の二刀流など園芸生産の拡大を推進したい。

**問** 宮崎県の新富町の1個1,000円するイチゴなど、特徴ある園芸農産物の取り組み内容は。

**市長** 降雪地であることなど条件の関係もあるが、当市ではブドウの生産などに取り組んでいる。今後は園芸農産物の取り組みに力を入れていきたい。

### 認定こども園・保育園事業について

**問** 幼児期の教育は、人が最も成長し、人間形成の基礎となる大切な時期である。こども園などの職員の資質向上、良質な教育の提供の取り組みはどのようなか。

**教育長** 保育園等では各種専門研修などを通して、職員の資質向上や保育環境の充実を図っているほか、特色ある園活動による地域とのつながりの強化等に力を入れている。

## 道路脇用・排水路の安全管理について



堀川 義徳 議員

**問** 歩道がない通学路や道路脇の農業用・排水路における安全対策を今後どのように進めていくのか。

**教育長** 通学路の安全確保は、毎年市の関係課、県、警察などの関係機関で合同安全点検を実施し、それを受け、注意喚起の看板設置等を行っている。また通学路脇の危険な用・排水路についても、安全柵の設置や修理、注意喚起の看板設置ふたの設置などを行っている。安全対策だけでなく子どもへの安全指導の徹底、保護者への安全指導の徹底を図っていききたい。

### 子どもの貧困対策について

**問** 子どもの将来が、その生まれ育った環境によって左右されることがないよう、時代に合った子どもの貧困対策計画を当市においても策定する必要があると考えるがどうか。

**教育長** 子どもの貧困対策について県では、新潟県子ども貧困対策推進計画を策定し、具体的な支援の取り組み内容を施策として示

している。その内容は市の子ども・子育て支援事業計画で網羅することができると判断し、現在策定中の第2次計画に子どもの貧困対策に関する取り組み等も盛り込んでいく考えである。

### 市役所6階のスペース活用について

**問** 妙高山や米山を一望できる市役所6階のスカイラウンジを市民が気軽に利用できる喫茶店などとして活用する考えは。

**市長** 庁舎6階のスカイラウンジ妙高連山を眺める眺望のよい場所であり、これまで市のフェイスブックを通じてPRしてきた。今後市報へ掲載するとともに、利用者の多い1階に案内板等を掲示することにより、多くの市民や来庁者から利用いただけるよう努めたい。



スカイラウンジからの眺め



# 教職員の働き方改革と教科担任制の導入

阿部 幸夫 議員



## 教職員の時間外勤務の状況は

**問** 学校における働き方改革に関する総合的な方策の中問まとめが出され、現在も中央審議会の働き方改革特別委員会で議論されている。小・中学校の教職員の時間外勤務の状況は。

**教育長** 平成30年度に月60時間以上時間外勤務をした教職員の割合は平均26・0%で、中学校の教職員の割合では50・5%である。

**問** 中学校部活動の休養日や活動時間はどのようか。

**教育長** 平成30年11月から21週で、市内の全中学校の部活動の休養日は平日、休日ともに平均で約1・3日である。練習時間は、普段の練習と練習試合等への参加の場合などで大きく異なるが、普段の練習時間は平均すると平日は2時間程度、休日は3から4時間程度で、いずれも市の部活動ガイドラインに沿った状況となっていると判断している。

## 教職員の多忙化解消の取り組みは

**問** 教育委員会として教職員の働き方改革の現状をどう考えているか。また、教職員の多忙化解消にどう取り組むか。

**教育長** 教職員が充実した授業を行うとともに、子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、更なる業務改善が必要である。市では、昨年度から継続して出退校簿による勤務時間の把握と業務分析の継続、部活動の改善と部活動指導員制度の一層の活用促進などに取り組む。

## 小学校高学年の教科担任制導入の考えは

**問** 文部科学省は、公立の小学校5、6年生への教科担任制度導入に向けて検討に入り、早ければ令和3年から教科担任制の導入をスタートさせたい考えである。小学校の教科担任制の導入についてどのような考えか。

**教育長** 教科担任制は専門的な見地からより深い指導ができるが、小学校において一層の教職員数の確保が必要である。国や県の動向を注視したい。



# 病児保育について

八木 清美 議員



**問** 病児保育の実施にあたり、感染症予防のための保育室の環境や設備等は整えられているか。また、病児保育に伴う職員体制は。

**教育長** 病児保育室は、12月の開設を予定し、6月から試行中である。試行中は隔離スペースが確保できず、感染症の場合は同じ病気を取る。施設改修後は隔離室を設け、適正な施設運営に努める。職員体制は、2人の臨時保育士が常駐する。

**問** 病児保育について、市報に掲載されていたが、分かりにくい点があった。市民から問い合わせは。

**教育長** 病児保育室の開始は、市報のほか、1歳児訪問や保育園等でも周知し、新規登録などの問い合わせがある。今後も周知を進め利用促進に努める。

## 大型連休での園児等家族の支援体制は

**問** 10連休中の保育園の利用状況と課題はどのようか。

**教育長** 10連休中は、4月30日と5月2日に2園で休日保育を実施

し、96人が利用した。事前に利用希望アンケート等を行いスムーズな運営が行われた。

## 健康長寿！フレイル予防について

**問** 市では健康長寿を目指した運動を展開している。健康診断等の機会を捉えたフレイルチェックの実施など、予防のための指導が必要だが取り組みは。また、社会とのつながりが希薄になることが、フレイルの最初の入口とも言われている。対策はどのようか。

**市長** フレイル予防の取り組みは、70歳になる方への健康調査書の送付や地域の出前講座でフレイル予防の重要性についての説明など啓発を行っている。フレイルに該当した方の個別訪問により心身の状況を確認し、必要なサービスへの参加を促すなど支援している。

**問** 元気な高齢者を増やすため、健康長寿の秘訣を市民に紹介する取り組みは行っているか。

**市長** 健康長寿の秘訣をセンテナリアンイベントなどで紹介してきた。今後も機会を捉え周知したい。

いろいろが聞きたーい一般質問



### 小規模・家族農業の持続確保について

岩崎 芳昭 議員



**問** 中山間地域では、高齢化や人口減少等から農地の減少、農業技術継承の困難さなどに直面している。農業は、食糧の生産だけでなく、多様な生物種や土壌・水・景観を保全し、農村文化を創り出し、将来に向かつても農業の持つ役割や機能は必要である。定年帰農者や親元就農者に対する支援、食農教育への参画など、農村を残す道はどのようなか。

**市長** 親元就農者等に対する支援は、就農者の掘り起こしや機械導入への助成、就農学習塾の開催など、定年帰農者を含めた新規農業者の育成に努める。食農教育は、一部の地域で行われている、中山間地域等直接支払交付金を活用した市内の保育園等の農業体験教室の拡大や、学校給食用の安全、安心な地場産米のPR等を通じて、今後も食と農のかかわりや関係を高めていきたい。中山間地域の農業は、高齢化と人口減少により農村生活環境の維持活動を行うこと自体の厳しさが増している。家族経営規模、小規模農の生活の中で見える、人と自然の調和こそが本

来の農業の形である。地域づくり協働センターとも連携を図り、引き続き農村の維持に努める。

### インフルエンザ予防接種の支援拡充

**問** インフルエンザワクチンの接種は、感染後の重症化を防ぐ効果が認められており、接種費用の一部公費負担など子育て世代の負担軽減に取り組むべきと考える。また、中学3年生は、高校受験期と重なることから子育て応援として、無料接種制度を検討すべきと考えるがどうか。

**市長** 児童・生徒等へのインフルエンザ予防接種費用の公費負担の検討について、疾病対策としては、現時点では若年層に対する発病阻止の効果が低いことや任意接種であることから、支援に至らなかつた経緯がある。策定中の第3次総合計画で人口減少対策の一環として子育て世代への支援強化を検討しており、経済的支援としてのインフルエンザ予防接種費用の助成について、総合的な視点から検討したい。



### 中心市街地の活性化について

佐藤 栄一 議員



### 新図書館建設に向けた取り組み状況

**問** 現在の図書館は手狭であり、基準の半分も満たしていない。図書館の集客力は抜群であり、中心市街地に配置することにより、街の雰囲気を変え、商業の活性化を後押しすると言われている。新図書館の議論はどの程度まで進んでいるのか。

**教育長** 新図書館整備に向けた基本構想案が概ねまとまった。構想案では、設置場所について、学校や文化ホールとの一体的な利用が期待できる現図書館のある文教エリアもしくは、中心市街地の賑わい等に寄与できる市役所周辺エリアのいずれかでの整備が望ましいとされおり、基本構想を踏まえ、立地適正化計画との整合を図り、建設場所を決定したい。

### 石塚加茂線の延進について

**問** 都市計画道路の石塚加茂線は、上町と田町の堺まで延進したが、けいなん総合病院までの延進が見えて

こない。交差点も変則な形状で危ない。今後の進捗はどうか。

**市長** 石塚加茂線については、全長2,200mのうち上町の上越新井線に接続するまでの951mの区間で整備が完了している。今後の整備は、事業主体である県へ、街路単線としての整備を継続して要望する。

### 朝日町再開発事業の空きスペース対策

**問** 朝日町再開発地区の商圏人口の減少と高齢化、郊外での大型商業店舗の出店ラッシュにより厳しい状況となっている。空きスペースは大きなマイナスイメージだが、活性化に向けた取り組み状況と見通しはどうか。

**市長** 新井駅周辺を中心市街地の活性化のため、中核施設である、さん来夢あらいの活性化は喫緊の課題である。現在策定中の第3次総合計画や立地適正化計画で中心市街地の都市機能の維持や必要な機能の誘導の検討を進めている。また、スーパーサンライズの早期再開に向けて取り組んでいく。





# 持続可能な妙高市に向け、 今やるべきこと!



村越 洋一 議員

次期総合計画に国連の  
SDGsを取り入れるべき

**問** 食品ロスの削減のために「もつたない!食べ残しゼロ運動」の推進とドギーバッグの推進の考えは。

**市長** 食品ロスの削減の推進に関する法律が成立し、県でも今年度から食品ロス削減に取り組み。県と連携し取り組みを推進したい。飲食店での持ち帰り容器による食品の持ち帰りは、もつたない食べ残しゼロ運動の中で取り組む必要があると考え、もつたない意識の啓発や持ち帰り容器提供の協力店拡大など、食品ロス削減に取り組みたい。

**問** 多様な主体が協働して社会の課題解決を行うSDGsを第3次総合計画に取り入れるべきではないか。

**市長** 策定中の総合計画では、生命地域の創造をまちづくりの基本理念としており、SDGsが目指すべき方向と同じと考える。持続可能な長期戦略に繋がる施策を計画に反映していく。

**問** SDGsの取り組みを総合計画の中でどう取り組むのか。

**企画政策課長** 総合計画案における主要施策は、SDGsに掲げる17の目標全てに位置付けられる見込みであり、総合計画への記載について今後検討していきたい。

スマート社会に向けた  
人材育成について

**問** 令和2年度から必修となるプログラミング教育について、学校の体制整備はどのようか。

**教育長** プログラミング教育について、妙高市プログラミング教育ベーシックプランを各学校に配備し、実情に自由に組み組める体制を作りたい。

**問** 小学校での英語教育が必修となることを鑑み、小規模特認校である新井南小学校でのプログラミング教育を特色ある教育活動として深め、未来の教育モデル校としてはどうか。

**教育長** 新井南小学校の今後の特任校のあり方については、外国語活動の一層の充実と、ICT教育の先進的な導入を視野に入れ、必要な支援をしたい。

「かが聞きたしー」般質問

道路舗装の整備を  
計画的に



# 道路舗装の整備を 計画的に

横尾 祐子 議員



**問** 当市にとって冬期間の道路除雪は欠かせない。昨シーズンから除雪出動の基準が10センチとなり、山間地の方々を初め、安心して通勤や通学ができるようになった。一方、重量が20トン近くあるロータリ除雪車などの除雪作業により、道路舗装の損傷が激しくなっている。アスファルト舗装の場合、通常10年の寿命を基本に設計され、大型車の通行が多いほど、舗装の損傷が早い。路面のひび割れや地盤等の状況により波状になつている所、穴の開いている所も多く見受けられる。今後、緊急度、重要度の高い所から計画的な補修を行うべきと考えるがどうか。また、近年の道路舗装の状況はどのようか。

**市長** 市道の管理については、職員による道路パトロールや道路モニターのほか、地図投稿システムを活用した市民からの情報提供により道路状況の把握に努めており、緊急対応を含め、修繕が必要と判断した場合は速やかに対応している。また、幹線道路については、補助事業を活用し、平成24年度と

平成29年度に舗装のひび割れ調査を行い、道路の重要性や交通量などを考慮した中で、順次整備を進めている。しかしながら、経年劣化が進行している幹線道路があることから、来年度にひび割れ調査を計画しており、今後も優先順位に基づいた計画的かつ効率的な整備を実施する。集落内の生活道路においても、損傷状況の把握に努め、状況に応じた速やかな対応を図ることで安全、安心な通行の確保に努めたい。

**問** 除雪の回数が多いことで、道路の損傷も増していくと考えるが、どのような考えか。

**建設課長** 舗装の破損の原因は、様々あるが、当市では除雪車など重量の大きな車両が通ることや、気温が低いいため、路盤や舗装に凍傷を与えていることが特殊な要因と考えている。今後の道路改良や舗装の修繕にあたり、それらを考慮した中で整備していきたい。

※ SDGs…2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための国際目標のこと。





# 友楽里館はなぜ閉館になったのか

渡辺 幹衛 議員



## 経営・管理のノウハウ研修は

**問** 友楽里館の閉館を受け、多くの類似施設の現状も懸念される。指定管理者制度の今後の対応はどのようなか。また、指定管理制度による各施設には、それぞれ特有の課題がある。丸投げでは課題は解決しない。経営・管理のノウハウの研修はどのようなか。

**市長** 地域活性化施設については、整備当時の経済状況、利用者ニーズの変化、利用者の伸び悩み、施設設備の老朽化等の課題がある。課題を指定管理者と共有し、時代や利用者ニーズの変化を捉え、第三者による経営診断の実施などについて助言、検討、計画的な施設設備の修繕に努めてきた。

## すい臓がん検診の実施で救える命を救え

**問** 市民健診にすい臓がん検診を加えることについて、医師会との協議はどのようなか。

**市長** 医師会との意見交換では、検査に要す放射線技師や設備の確保などから、集団健診での実施は

難しいとのことである。今後、すい臓がん検診の希望者には、腹部エコー検査を実施している人間ドックへの受診を勧奨し、早期発見につなげたい。

## 管理職が同時に異動することによる市民生活への影響は

**問** 課長、課長補佐の役割をどのように捉えているか。

**市長** 課長などの管理職は、経営目標や主要課題を見極め、その達成に向けて成果や実績を上げることに、また職員的能力や適性、勤務状況などを掌握し、指導、助言を行う中で、部下職員の能力向上に努めることが役割と考えている。

## 入札制度のためまない見直しを

**問** 市の入札制度で見直すべき課題は何か。

**市長** 市の入札制度は、透明性の確保、競争性の向上などを推進するため、指名から一般競争入札への移行など、入札制度の改善に努めてきた。より一層の透明性や競争性を高める方策に取り組む。



# 教育方針と環境整備について

霜鳥 榮之 議員



## 小規模特認校の今後の教育方針は

**問** 特認校の売りの一つである英語教育は、全ての学校で取り組むこととなったが、これを受けた今後の特認校の新たな特徴の位置づけ等の考えはどのようなか。

**教育長** 来年度から3年生以上の外国語活動の時数は他校と同じになるが、併設するひまわり保育園や低学年からの取り組みの積み重ね、話すことに特化している外国語活動は今後も南小学校の特徴の一つになると考えている。

**問** 各学校に整備される冷房設備について、工事の進捗状況はどのようなか。

**教育長** 5月末現在、新井地域では、受電設備の設置などを残し、概ね工事が完了した。妙高高原、妙高地域についても計画では6月末の完了を予定している。

**問** スクールバス運行の中で、一般混乗となっている妙高高原中学校のバス停について、安全対策が必要とされるが、その考えは。

**教育長** バス停の安全対策は、バス時刻まで教室で待

たせるなど、校外での待ち時間がなるべく短くなるようにしているほか、バス停付近の街路灯増設を検討したい。

## トキ鉄の運賃値上げと地域要望の関係は

**問** えちごトキめき鉄道の運賃値上げが提起されたが、地域要望等の対応はどのようなか。

**市長** 今回の運賃改定は、当面の損益改善を図るもので、今後、設備投資計画などを反映させた中期計画を策定することとしている。大規模投資については、この計画策定に合わせて再度要望したい。

## 防災行政無線の変更等に 関する地域への説明等は

**問** 防災行政無線の変更に伴う戸別受信機の内容は、市民に周知徹底されていないと認識している。工事に伴う地域説明会等の考えはどのようなか。

**市長** 戸別受信機の設置について、市報等による周知を行ってきたが、地域ごとの状況を把握し、地域説明会を実施するなど、丁寧な対応による事業進捗に努めたい。



# ライチョウを 第二の「市の鳥」に

高田 保則 議員



**問** 当市のライチョウ保護の取り組みは、市民を対象とした妙高ライチョウシンポジウムの開催やライチョウ保護のためのクラウドファンディングの実施、第18回ライチョウ会議新潟妙高大会開催など、政策や情熱は他の類を見ないものがある。市民のライチョウへの関心も非常に高まっている。ライチョウを第二の「市の鳥」と指定すべきと考えるがどうか。



火打山のライチョウ

(国際自然環境アウトドア専門学校提供)

**市長** 当市に生息するライチョウは、日本のライチョウ生息域の中でも最北限、最小の個体群であり、環境省との連携により、保護活動に取り組んでいる。ライチョウの生息地である長野県大町市や富山県では、ライチョウを各自自治体の鳥として指定しており、当市に

おいても第二の市の鳥として関係機関、有識者と相談しながら、その指定に向けて前向きに考えていきたい。

## 「長助新道」命名について

**問** 山岳観光の先駆者である岡田長助翁が近代登山の黎明期に開通させた火打山登山道。その偉業を称えるとともに、生誕130年を迎えるにあたり、愛称を「長助新道」と命名してはどうか。

**市長** 火打山登山道の入り口から高谷池ヒュッテまでの間は、火打山登山道の愛称で広く親しまれており、認知されているほか、妙高山側には岡田長助翁にちなんで命名された長助池、長助分岐があり、登山者には親しみを帯びている方が多い。長助新道の命名については、関係機関と協議し検討をしていきたい。また、岡田長助翁の火打山登山道の開拓に対する偉業は敬意を表するものであり、今後機会を捉えてこのことについても広くPRしていきたい。



# 障がい者の 生活支援の充実を

太田 紀己代 議員



**問** 障がい者団体が研修等へ参加する際利用できる福祉バスについて、費用支援や利用に関する支援の現状と課題、今後の対応はどのようなか。

**市長** 昨年度は、16団体延べ32回の利用があった。バスが1台でイベント等が重なった場合は、利用できないなどの課題がある。障がい者団体は6カ月前から申し込みができるよう優遇している。利用者負担の見直しなど早めに結論を出したい。

**問** 障がい者の居住に関する環境の整備はどのようか。障がい者が地域で暮らし続けられるための住まい等の現状と計画についてどのように考えているか。

**市長** 平成31年4月末現在、障がい者のグループホームには39名入居している。入居者の状況は、個別支援会議等できめ細かに把握し、生活が困難な場合は、本人の状況に応じた検討を行っている。

## 児童遊園の管理等について

**問** 市が管理する児童遊園の遊具

の点検、維持管理体制等はどううか。また、遊具等による事故対応や補償はどのようか。

**教育長** 市内の児童遊園の遊具は、3年ごとに専門業者の点検を受けるなど、安全確保に努めている。施設の瑕疵による事故が発生した場合は、設置者である市に管理上の責任が生じるため、他の市有施設の事故と同様に補償する。

## 介護避難所のあり方について

**問** 介護避難所の役割はどのように定義され、各施設との連携体制はどのようになっているか。また、特に配慮が必要な方に対する受け入れや現状の課題と対策は。

**市長** 介護避難所は、介護避難所設置運営マニュアルの中で受け入れ基準等について定めている。また、20法人、44施設の民間福祉事業者と介護避難所の設置運営に関する協定を締結している。平成30年度にマニュアル見直しに着手し、協定事業所との意見交換では、受け入れ人数の基準等に課題があり、検討、調整している。

11ページが聞きたこと一般質問

## 議員表彰



渡辺幹衛議員

全国市議会議長会議長会及び、北信越市議会議長会から渡辺幹衛議員に在職15年以上の表彰状が贈られました。

# 議会報告会・意見交換会を開催

4月16日から18日の3日間、市内の3地域で議会報告会・意見交換会が開催され、合わせて68名の方からご参加いただき、42のご意見をいただきました。いただいたご意見は、対応方針を協議し、市側へ伝えるなどしています。ここでは、いただいたご意見のうち、調査結果を議会だよりでお知らせするものとして掲載します。

**【問】新井頸南ふるさと市町村圏基金はどうなったのか**  
**【答】**平成17年の市町村合併による圏域指定の除外に伴い基金は廃止され、合併市町村の出資分は全て新井市に帰属する形で処分されました。その後、妙高市がふるさと市町村圏基金と同種の地域振興を目的とした妙高ふるさと振興基金を設置しています。

## 平成30年度 妙高市議会政務活動費の使途内訳

政務活動費は、議員の調査研究活動などに必要な経費の一部として、市から各議員に交付されるものです。各議員から提出された収支報告書には、政務活動の詳細及びその支出に対する領収書等が添付されています。収支報告書の写しについては、“市役所1階 コラボサロン”で公開しています。またホームページ上でも主な使途について公開しています。 ※太田議員は、補欠選挙当選のため5カ月分 (単位:円)

議員氏名	交付額	支出額										収支差引額 (返還額)	
		調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費		支出計
1 横尾 祐子	180,000		79,436	44,643				8,960	38,217			171,256	8,744
2 佐藤 栄一	180,000	45,885	98,405						89,186			233,476	0
3 渡辺 幹衛	180,000		7,270						105,568			112,838	67,162
4 村越 洋一	180,000		147,833						15,997			163,830	16,170
5 岩崎 芳昭	180,000	51,046	28,390	44,643					70,952			195,031	0
6 宮澤 一照	180,000	139,924	33,560						33,357			206,841	0
7 関根 正明	180,000		87,283						108,297			195,580	0
8 植木 茂	180,000	181,311						5,980	80,181			267,472	0
9 霜鳥 榮之	180,000	96,553							93,720			190,273	0
10 高田 保則	180,000	58,216	27,200	44,643				6,000	111,999			248,058	0
11 阿部 幸夫	180,000	145,707							123,120			268,827	0
12 太田 紀己代	75,000		29,600						55,151			84,751	0
13 木浦 敏明	180,000	59,103	89,693						36,117			184,913	0
14 樽沢 諭	180,000	88,266	23,070					5,122	84,888			201,346	0
15 山川 香一	180,000	83,454						13,036	97,025			193,515	0
16 小嶋 正彰	180,000	179,791	15,000						64,842			259,633	0
17 八木 清美	180,000	102,836	28,680						79,965			211,481	0
18 堀川 義徳	180,000	60,800	85,670						48,564			195,034	0
小計	3,135,000	1,292,892	781,090	133,929	0	0	0	39,098	1,337,146	0	0	3,584,155	92,076



議会だより編集委員

**編集後記**  
 6月定例会は、元号が「令和」に変わった最初の議会であり、任期最後の議会でした。編集委員一同、手取り読んで見なくなる、議会を身近に感じてもらえる「議会だより」を目指し、この2年間取り組んで参りました。議会では、紙面に掲載しきれない議論が交わられています。インターネット中継の視聴や議場の傍聴をお待ちしております。  
 (編集委員 岩崎芳昭)

### 編集後記

7月3日、山川香一議員が逝去されました。長年にわたり、地域の発展に貢献された山川議員の功績を称えらるとともに、ご冥福をお祈り致します。



故 山川香一議員

### 追悼